



**問3 見守り機器の導入・活用状況**

**※令和元年10月1日時点**

この設問では見守り機器の活用状況等をお伺いします。本設問の対象となる見守り機器については、【別紙】製品一覧を確認してください。

1. 機器導入にあたっての検討

(1) 見守り機器導入の有無  
(いずれか1つに○をつけてください)      1 導入している      2 導入していない      → 問4へ進んでください

(2) 導入している見守り機器

- ※直近に導入した製品の順に製品名等を記入してください。
- ※製品コードは【別紙】製品一覧に記載の番号を記入してください。  
一覧にない場合は、製品名・メーカー名を記入してください。
- ※「初回設置」には、初めて当該機器を設置した時期と台数を記入してください。

製品コード 【別紙】参照	【別紙】製品一覧に番号がない場合のみ記入		初回設置		現在の 設置台数	★使用している主な機能 (欄外の選択肢の番号を記入)			
	製品名	メーカー名	時期※西暦で記載	台数					
1			年 月	台	台				
2			年 月	台	台				
3			年 月	台	台				
4			年 月	台	台				
5			年 月	台	台				

★「使用している主な機能」選択肢

- |                 |              |                |
|-----------------|--------------|----------------|
| 1 動画による見守り      | 2 記録画像の活用    | 3 センサーによる離床の検知 |
| 4 心拍の状態を把握      | 5 呼吸の状態を把握   | 6 眠りの状態を把握     |
| 7 その他、利用者の状態を把握 | 8 ナースコールとの連動 | 9 介護記録との連動     |
| 10 その他          |              |                |

(3) 追加で設置したい台数      台      ※短期入所生活介護または短期入所療養介護併設の場合は合算で回答ください。

(4) 見守り機器の活用場面  
(あてはまるものに○をつけてください)

1 訪室の必要性の判断	2 優先順位の判断
3 転倒・転落の予防、早期発見	4 事故原因の分析
5 利用者の行動パターンの把握	6 排泄タイミングの把握
7 睡眠状態の把握	8 看取りケア
9 記録の効率化	10 その他

2 導入にあたっての準備

(1) 教育の実施方法      (あてはまるものに○をつけてください)

① 法人主導の教育の実施	1 座学で実施	2 実習で実施	3 実施していない
② 施設主導の教育の実施	1 座学で実施	2 実習で実施	3 実施していない
③ 機器メーカー主導の教育の実施	1 座学で実施	2 実習で実施	3 実施していない

(2) 職員が使用できるまでの期間      週間

3 機器導入後の効果の把握について	
(1) 効果の把握状況	
① 導入時の効果 (あてはまるもの1つに○をつけてください)	1 把握している    2 把握していない
② 導入後の効果 (あてはまるもの1つに○をつけてください)	1 定期的に把握している    ⇒    か月毎    2 把握していない
③ 評価項目と実施方法	
評価項目 (把握している評価項目に○をつけてください)	実施方法 (評価項目ごとにあてはまるものに○をつけてください)
1 利用者の状態像等 (ADL、認知機能等)	1 機器を用いた評価    2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
2 利用者の行動等 (睡眠時間、離床回数等)	1 機器を用いた評価    2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
3 ヒヤリハット、事故等	1 機器を用いた評価    2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
4 業務内容 (居室の訪室回数、業務時間等)	1 機器を用いた評価    2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
5 職員の心理的負担・意欲等	1 機器を用いた評価    2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
6 その他    ↓具体的な内容を1つ記入 (                                      )	1 機器を用いた評価    2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
④ 評価指標の集計・分析 (いずれか1つに○をつけてください)	1 施設職員が実施    2 導入している機器のメーカーが実施 (依頼) 3 法人職員が実施    4 その他
⑤ 評価結果の活用状況 (あてはまるものに○をつけてください)	1 ケアプランの見直しに活用    2 機器の利用方法の改善 3 機器の対象利用者を見直し    4 業務手順の見直しに活用 5 職員の配置・シフトの見直しに活用 6 その他
(2) 【効果を把握していない場合】 効果を把握していない理由  (あてはまるものに○をつけてください)	1 評価をする人材がない    2 評価をする時間がない 3 評価すべき項目がわからない 4 評価結果の集計・分析方法がわからない 5 評価結果をどのように活用すべきかわからない 6 評価する必要性を感じない 7 評価結果を議論する会議体等がない 8 その他

4 加算の届出状況		※介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、短期入所生活介護の方のみ	
(1) 夜勤職員配置加算の取得状況 (あてはまるものに○をつけてください)	① 介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設		
	1 夜勤職員配置加算 (I) イ	2 夜勤職員配置加算 (I) □	
	3 夜勤職員配置加算 (II) イ	4 夜勤職員配置加算 (II) □	
	5 夜勤職員配置加算 (III) イ	6 夜勤職員配置加算 (III) □	
	7 夜勤職員配置加算 (IV) イ	8 夜勤職員配置加算 (IV) □	
	9 取得していない → 問4へ進んでください		
	② 短期入所生活介護		
	1 夜勤職員配置加算 (I)	2 夜勤職員配置加算 (II)	
	3 夜勤職員配置加算 (III)	4 夜勤職員配置加算 (IV)	
	5 取得していない → 問4へ進んでください		
(2) ① 見守り機器の導入による夜勤職員配置加算の届出 (あてはまるもの1つに○をつけてください)	1 あり	※(2)①で「2 届出予定」と回答した方のみ	
	2 届出予定	② 予定時期 (あてはまるもの1つに○をつけてください)	1 令和元年度中
3 なし	2 令和2年度		
		3 令和3年度以降	
		4 未定・不明	
※(2)①で「3 なし」と回答した方のみ			
③ 見守り機器の導入による夜勤職員配置加算の届出を実施していない理由 (あてはまるものに○をつけてください)	1 見守り機器の導入による夜勤職員配置加算を取得する意向がない		
	2 見守り機器の導入による0.1人分の要件緩和がなくとも人員配置基準を満たしている		
	3 要件(入所者の15%)以上を満たす見守り機器の台数を導入していない		
	4 見守り機器を安全かつ有効に活用するための委員会の設置が困難		
	5 その他 ⇒具体的に( )		
④ 今後の届出の意向について (あてはまるもの1つに○をつけてください)	1 届出したい	2 届出するつもりはない	
	3 どちらともいえない、わからない		

**問4 見守り機器以外の導入・活用状況** ※令和元年10月1日時点

この設問では見守り機器以外の介護ロボットの活用状況等をお伺いします。本設問の対象となる介護ロボットについては、【別紙】介護ロボットとはを確認してください。

※見守り機器以外の介護ロボットを導入していない場合は、問6へ進んでください。

1. 導入している介護ロボットについて

**見守り機器以外に**、導入している介護ロボットについて、**直近に導入した順で最大5製品まで**記入してください。

※直近に導入した製品の順に製品名等を記入してください。

※製品コードは【別紙】製品一覧に記載の番号を記入してください。

一覧にない場合は、製品名・メーカー名を記入してください。

※「初回設置」には、初めて当該機器を設置した時期と台数を記入してください。

番号	製品コード 【別紙】参照	【別紙】製品一覧に番号がない場合のみ記入		初回設置		現在の 設置台数
		製品名	メーカー名	時期※西暦で記載	台数	
1				年 月	台	台
2				年 月	台	台
3				年 月	台	台
4				年 月	台	台
5				年 月	台	台

**問5 見守り機器以外の効果の把握について**

※令和元年10月1日時点

問4「1.導入している介護ロボット」で回答いただいた介護ロボット（番号1～5）のうち、直近で導入した製品（最大2製品）について、導入にあたっての準備と効果測定の実施状況について教えてください。

機器その1

問4の番号

1 導入にあたっての準備

(1) 教育の実施方法 (あてはまるものに○をつけてください)

① 法人主導の教育の実施	1 座学で実施	2 実習で実施	3 実施していない
② 施設主導の教育の実施	1 座学で実施	2 実習で実施	3 実施していない
③ 機器メーカー主導の教育の実施	1 座学で実施	2 実習で実施	3 実施していない

(2) 職員が使用できるまでの期間  週間

2 機器導入後の効果の把握について

(1) 効果の把握状況

① 導入時の効果 (いずれか1つに○をつけてください)	1 把握している	2 把握していない	→ (2)へ進んでください
② 導入後の効果 (いずれか1つに○をつけてください)	1 定期的に把握している	⇒	か月毎 2 把握していない

③ 評価項目と実施方法

評価項目 (把握している評価項目に○をつけてください)	実施方法 (評価項目ごとにあてはまるものに○をつけてください)	
1 利用者の状態像 (ADL、認知機能等)	1 機器を用いた評価	2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
2 利用者の行動 (睡眠時間、離床回数等)	1 機器を用いた評価	2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
3 ヒヤリハット、事故等	1 機器を用いた評価	2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
4 業務内容(居室の訪室回数、業務時間等)	1 機器を用いた評価	2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
5 職員の心理的負担・意欲等	1 機器を用いた評価	2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
6 その他 ↓具体的な内容を1つ記入 ( )	1 機器を用いた評価	2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価
④ 評価指標の集計・分析 (いずれか1つに○をつけてください)	1 施設職員が実施	2 導入している機器のメーカーが実施(依頼) 3 法人職員が実施 4 その他
⑤ 評価結果の活用状況 (あてはまるものに○をつけてください)	1 ケアプランの見直しに活用	2 機器の利用方法の改善 3 機器の対象利用者を見直し 4 業務手順の見直しに活用 5 職員の配置・シフトの見直しに活用 6 その他

<p>(2) 【効果を把握していない場合】 効果を把握していない理由  (あてはまるものに○をつけてください)</p>	<p>1 評価をする人材がない                      2 評価をする時間がない 3 評価すべき項目がわからない 4 評価結果の集計・分析方法がわからない 5 評価結果をどのように活用すべきかわからない 6 評価する必要性を感じない 7 評価結果を議論する会議体等がない 8 その他</p>
<p>機器その2</p>	
<p>問4の番号</p>	<input type="text"/>
<p>1 導入にあたっての準備</p>	
<p>(1) 教育の実施方法                      (あてはまるものに○をつけてください)</p>	
<p>① 法人主導の教育の実施</p>	<p>1 座学で実施      2 実習で実施      3 実施していない</p>
<p>② 施設主導の教育の実施</p>	<p>1 座学で実施      2 実習で実施      3 実施していない</p>
<p>③ 機器メーカー主導の教育の実施</p>	<p>1 座学で実施      2 実習で実施      3 実施していない</p>
<p>(2) 職員が使用できるまでの期間</p>	<p>週間</p>
<p>2 機器導入後の効果の把握について</p>	
<p>(1) 効果の把握状況</p>	
<p>① 導入時の効果 (いずれか1つに○をつけてください)</p>	<p>1 把握している      2 把握していない → (2) へ進んでください</p>
<p>② 導入後の効果 (いずれか1つに○をつけてください)</p>	<p>1 定期的に把握している ⇒      か月毎      2 把握していない</p>
<p>③ 評価項目と実施方法</p>	
<p>評価項目 (把握している評価項目に○をつけてください)</p>	<p>実施方法 (評価項目ごとにあてはまるものに○をつけてください)</p>
<p>1 利用者の状態像 (ADL、認知機能等)</p>	<p>1 機器を用いた評価      2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価</p>
<p>2 利用者の行動 (睡眠時間、離床回数等)</p>	<p>1 機器を用いた評価      2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価</p>
<p>3 ヒヤリハット、事故等</p>	<p>1 機器を用いた評価      2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価</p>
<p>4 業務内容(居室の訪室回数、業務時間等)</p>	<p>1 機器を用いた評価      2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価</p>
<p>5 職員の心理的負担・意欲等</p>	<p>1 機器を用いた評価      2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価</p>
<p>6 その他      ↓具体的な内容を1つ記入 (                      )</p>	<p>1 機器を用いた評価      2 記録等を用いた評価 3 アンケート等を用いた評価</p>
<p>④ 評価指標の集計・分析 (いずれか1つに○をつけてください)</p>	<p>1 施設職員が実施      2 導入している機器のメーカーが実施(依頼) 3 法人職員が実施      4 その他</p>

⑤ 評価結果の活用状況 (あてはまるものに○をつけてください)	1 ケアプランの見直しに活用 2 機器の利用方法の改善 3 機器の対象利用者の見直し 4 業務手順の見直しに活用 5 職員の配置・シフトの見直しに活用 6 その他
(2) 【効果を把握していない場合】 効果を把握していない理由  (あてはまるものに○をつけてください)	1 評価をする人材がいない 2 評価をする時間がない 3 評価すべき項目がわからない 4 評価結果の集計・分析方法がわからない 5 評価結果をどのように活用すべきかわからない 6 評価する必要性を感じない 7 評価結果を議論する会議体等がない 8 その他 ⇒具体的に ( )

問6 加算届出のプロセスにおける介護ロボットの活用		※令和元年10月1日時点	
1 加算届出のプロセスにおける介護ロボットの活用 以下の加算の届出を行うプロセスにおいて、介護ロボットを活用しているケースはありますか。最大3つまで回答してください。 ※「使用している介護ロボット（製品コード）」には、問3（2）、問4で回答いただいた製品コードを記入してください。			
番号	★対象の加算	使用している介護ロボット (製品コード)	具体的な内容（自由記述）
例	4	○	利用者の畜尿量を把握することができるため、そのデータを活用して実施する支援計画を策定している。
1			
2			
3			
<b>★[対象の加算]の選択肢</b> 1 褥瘡マネジメント加算                      2 栄養マネジメント加算                      3 低栄養リスク改善加算 4 排せつ支援加算                              5 若年性認知症利用者受入加算              6 介護職員処遇改善加算 7 認知症専門ケア加算                        8 看取り介護加算                              9 生活機能向上連携加算 10 個別機能訓練加算                          11 入所前後訪問指導加算                    12 夜間支援体制加算 13 個別リハビリテーション実施加算      14 その他の加算			
※「対象の加算」の選択肢のうち、「14その他の加算」以外の選択肢については、下記の通り、施設種別に応じて記載できる項目が異なります。 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設：1～10 介護老人保健施設：1～7・11、介護療養型医療施設・介護医療院：2～7 特定施設入居者生活介護：6～10、認知症対応型共同生活介護：5～8・11・12 短期入所生活介護：5～7・10、短期入所療養介護：5・6・10・13			

問7 介護ロボットを安全かつ有効に活用するための委員会について		※令和元年10月1日時点	
(1) 委員会の設置 (いずれか1つに○をつけてください)	1 介護ロボットのための委員会を新たに設置した → 問8へ進んでください 2 既存の委員会を活用した → (2)へ進んでください 3 委員会を設置していない → (3)へ進んでください		
(2) 【既存の委員会を活用している場合】 既存の委員会 (いずれか1つに○をつけてください)	1 事故防止検討委員会                      2 身体的拘束適正化検討委員会 3 感染対策委員会                              4 その他		
(3) 【委員会を設置していない場合】 委員会を設置していない理由 (あてはまるものに○をつけてください)	1 新たに委員会を設置する負担が大きい 2 介護ロボット等について議論する既存の会議体がない 3 委員会設置の必要性を感じていない              4 その他		

### 問8 介護ロボット利用に起因した負傷等の状況

#### 1 介護ロボット利用に起因した負傷等の状況

※受診に至らずとも利用者や職員が負傷した（しそようになった）ケースについて、ご回答ください。

(1) 過去1年間における発生状況	1 発生した	2 発生していない
(2) 直近の1件について回答してください。		
① 対象の介護ロボット	製品コード	【別紙】製品一覧の製品コードを記入してください。
② 原因 (いずれか1つに○をつけてください)	1 機器の誤作動 3 職員の操作ミス 5 機器を過信したために起きた機器の誤操作	2 電波環境などによる誤作動 4 利用者による誤操作 6 その他
③ 具体的な内容 (自由記述)		
④ どのように対処したか (自由記述)		

#### 2 介護ロボット利用に起因した負傷等による受診の状況

※負傷の程度によらず、利用者や職員が医師の診察を受けたケースについてご回答ください。

(1) 過去1年間における発生状況	1 発生した	2 発生していない
(2) 直近の1件について回答してください。		
① 対象の介護ロボット	製品コード	【別紙】製品一覧の製品コードを記入してください。
② 原因 (いずれか1つに○をつけてください)	1 機器の誤作動 3 職員の操作ミス 5 機器を過信したために起きた機器の誤操作	2 電波環境などによる誤作動 4 利用者による誤操作 6 その他
③ 具体的な内容 (自由記述)		
④ どのように対処したか (自由記述)		

### 問9 介護ロボットに関する情報収集

(1) 情報収集の実施 (いずれか1つに○をつけてください)	1 情報収集している	2 情報収集していない	→ 回答終了です
(2) 情報収集の実施者 (あてはまるものに○をつけてください) ※(1)で1を選択した方のみ	1 施設長、管理者	2 リーダー職	
	3 介護職	4 その他職	
(3) 介護ロボット導入にあたり、事前にあると有益な情報 (あてはまるものに○をつけてください)	1 先行導入事例（好事例）	2 先行導入事例（課題・失敗事例）	
	3 導入の効果	4 介護ロボットの費用	
	5 導入にあたって使用した施策（補助金等）		
	6 どのような製品があるか		
	7 どのような環境整備が必要か		
(4) 情報収集先 (あてはまるものに○をつけてください)	1 行政	2 業界団体等	3 介護施設等
	4 介護ロボットメーカー	5 介護ロボットメーカー以外の業者等	
	6 その他		
(5) 情報収集方法 (あてはまるものに○をつけてください)	1 ホームページ	2 展示会	3 シンポジウム・セミナー・研修会
	4 その他		

設問は以上です。同封の返信用封筒で返送してください。ご協力ありがとうございました。



# 介護ロボットとは

1. ロボットの定義とは、

- 情報を感知(センサー系)
- 判断し(知能・制御系)
- 動作する(駆動系)

この3つの要素技術を有する、知能化した機械システム。

2. ロボット技術が応用され利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器を介護ロボットと呼んでいる。

## 介護ロボットの例

移乗支援



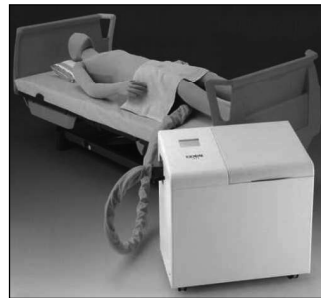
装着型パワーアシスト

移動支援



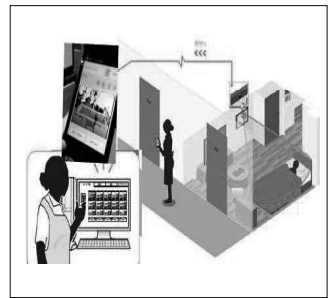
歩行アシストカート

排泄支援



自動排せつ処理装置

認知症の方の見守り



見守りセンサー

## 介護ロボットの開発支援について

### 民間企業・研究機関等 <経産省中心>

○日本の高度な水準の工学技術を活用し、高齢者や介護現場の具体的なニーズを踏まえた**機器の開発支援**

モニター調査の依頼等

試作機器の評価等

### 介護現場 <厚労省中心>

○開発の早い段階から、現場のニーズの伝達や試作機器について**介護現場での実証**(モニター調査・評価)

### 開発重点分野

#### 移乗支援

##### ○装着



・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器

##### ○非装着



・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器

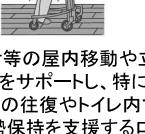
#### 移動支援

##### ○屋外



・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器

##### ○屋内



・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器

##### ○装着



・高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器

#### 排泄支援

##### ○排泄物処理



・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ

##### ○トイレ誘導



・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器

##### ○動作支援



・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器

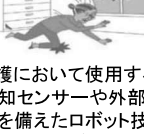
#### 見守り・コミュニケーション

##### ○施設



・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム

##### ○在宅



・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム

##### ○生活支援



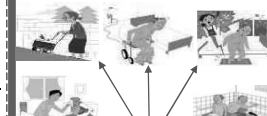
・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器

#### 入浴支援



・ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器

#### 介護業務支援



・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器

【別紙】製品一覧

調査票の問3（見守り）、問4（見守り以外）、問8（見守り、見守り以外）を回答する際に確認してください。  
型番違いにより選択肢がない製品については、同一の製品とみなして製品コードを選択してください。

問3、問8 選択肢

種類	製品コード	製品名 (50音順)	メーカー
見守り	ア	a a m s	株式会社バイオシルバー
	イ	C a r e 愛超音波離床検知システム	ハカルブラス株式会社
	ウ	Mi-Ru (ミール)	ワイエイシイエレックス株式会社
	エ	N e o s + c a r e (ネオスケア)	ノーリツプレジジョン株式会社
	オ	O W L S I G H T (アウルサイト)	O W L S I G H T (アウルサイト)
	カ	あんしん長持ち離床センサー-瞬速	株式会社バイオシルバー
	キ	イ-テリアマットE X	株式会社エクセルエンジニアリング
	ク	エンジェル・アイ	株式会社コンフォート
	ケ	おでかけキヤッチWS-01222セット	フランスベッド株式会社
	コ	ガードアイセンサー	株式会社ガードアイ
	サ	カリストエール	パラマウントベッド株式会社
	シ	ケアロボ	株式会社テクノスジャパン
	ス	コードレスマットスイッチセットHKC-2A	株式会社テクノスジャパン
	セ	コールドマット・Nボケット標準セット	株式会社テクノスジャパン
	ソ	ココヘルパN	ジーコム株式会社
	タ	施設向けみまもりシステム	株式会社エイビス
	チ	シルエット見守りセンサー	キング通信工業株式会社
	ツ	非接触無拘束ベッド見守りシステム	株式会社アイデアクエストイノベーション
	テ	マットセンサーTAKEX	竹中エンジニアリング株式会社
	ト	まもるへの	ASD株式会社
	ナ	ミオコーポレイション非接触バイタル検知センサー	株式会社ミオ・コーポレーション
	ニ	ライフリズムナビ	エコーピスタ株式会社
	ヌ	ラムロックシステムmini	株式会社ラムロック
ネ	リアルタイム見守りセンサーm-station	株式会社バイオシルバー	
ノ	顔認証徘徊防止システムLYKAON	リカオン株式会社	
ハ	見守りTANO	株式会社ラッキーズソフト	
ヒ	見守りケアシステムM	フランスベッド株式会社	
フ	超音波離床検知システム非接触バイタル感知センサー	日本セック株式会社	
ヘ	眠りSCAN	パラマウントベッド株式会社	
ホ	離床CATCH	パラマウントベッド株式会社	
マ	離床センサー-瞬II	株式会社バイオシルバー	
ミ	離床リスク検知センサー	エフ・アイ・ティ・パシフィック株式会社	
ム	徘徊のスケジュール	株式会社アイトシステム	
メ	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-	

問4、問8 選択肢

種類	製品コード	製品名 (50音順)	メーカー
移乗支援 (装着)	1	H A L 腰タイプ介護支援用	CYBERDYNE株式会社
	2	マッスルスーツ	株式会社イノフィス
	3	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-
移乗支援 (非装着)	4	移乗サポートロボットHugLi	株式会社FUJI
	5	ロボヘルパーSASUKE	マッスル株式会社
	6	愛移乗くん	株式会社アートプラン
	7	移乗アシスト装置	株式会社安川電機
	8	簡易移乗機i-PAL	株式会社今仙技術研究所
	9	離床アシストロボットシヨ-ネPlus	パナソニックエイジフリース株式会社
	10	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-
	11	アシスト機能付き歩行車フラティア	株式会社カワムラサイクル
移動支援	12	電動アシスト付歩行車Tecpo/テクポ	株式会社シンテックホズミ
	13	リトルキーパスL	株式会社幸和製作所
	14	ロボットアシストウォーカーRT-1	RT.ワークス株式会社
	15	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-
	16	Dfree	トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
	17	自動排泄処理装置EVERCARE	株式会社エバークア
	18	自動排泄処理装置ドリーマー	アドロールズ株式会社
排泄支援	19	自動ラップ式排泄処理システムラップボン	日本セイフティー株式会社
	20	水洗ポーターブルトイレキューレット	アロン化成株式会社
	21	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-
	22	ベッドサイド水洗トイレ	TOTO株式会社
	23	ポーターブルトイレル-マ	酒井医療株式会社
	24	メインレット爽	株式会社エヌウィック
	25	楽たれきつと	株式会社岡田製作所
	26	自動排泄処理装置ダイアレット	株式会社ライフ
	27	尿吸引ロボヒューマニ-ユニ-チャーム	ヒューマンケア株式会社
	28	製品名及びメーカー名を記載してください。	-
入浴支援	29	Wellsリフトキヤリ-	積水ホームテクノ株式会社
	30	シャワーオ-ル	エア・ウォーター株式会社
	31	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-
介護業務 支援	32	Ficare-IATコネクト	株式会社エフトス
	33	その他…製品名及びメーカー名を記載してください。	-